



株式会社プレステージ・インターナショナル 秋田BPOメインキャンパス



未来の秋田を担う人材を育む地域活性化活動

取組の目的・背景

- 食料支援を必要とする人への支援を通じた貧困問題の解消、分け合う心（福祉）を醸成する。
- SDGs 目標項目内の「豊かな海を守ろう」を実践し、地域の方も巻き込みながら活動することで啓もうする。
- お子様たちにボール遊びの楽しさを伝えつつ、空間認知能力の向上やリズム感を養い、次代のアスリートや健康な子供の育成に寄与する。
- 県内若年層に教育を通じて地域活性の取り組みの「楽しさ」「やりがい」を学んでいただき、Aターン及び秋田の発展に寄与する若者を育成する。

取組の内容

- ①プレステージ・インターナショナル社内及びホームゲーム会場（大館）にBOXを設置し、不要な食料品を回収。集まった食品はフードドライブの窓口となる「特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ」様に納品した。社内においては各家庭の在庫状況に精通した主婦層が多く、大変多くの食料品を回収できた。
- ②チームが拠点を置く市町村及びホームゲーム開催地などを中心に、近隣住民の方々やスポンサー様、漁業協同組合の皆さまなどと協力し海岸のゴミ拾いを行った。
- ③お子様用のボールを用いたボール遊び、バナナ体操などの幼児向けの体操を一緒に実施。体を動かすことや、普段接する機会のないトップアスリートとの交流から、先生・保護者以外の大人と接することの楽しさを学んでもらった。

- ④秋田商業高校の実践授業の一環で、学科毎に学んできたことを実践的に活かす場として2022年よりデュアルシステムを開始。地元で活躍する人材の育成をテーマに、地域活性の要素を取り入れたワークショップをカリキュラムの肝としている。メディアにも多数取り上げられ、若年層への啓もうにも貢献した。
- ・若年層が活躍の場に就けるよう、ビジネスマナー研修、履歴書の作成、面接練習を実施。
 - ・「アランマーレホームゲームの集客イベント」をテーマにワークショップを実施。グループ毎にアイデアの発表を行い。最優秀賞を決定。
 - ・ワークショップの最優秀賞を実現可能なかたちにアレンジし、アランマーレホームゲームで生徒とともにイベント運営。

■取組の実績・成果

- ①社内及びホームゲーム会場での実施で、コンテナ4箱分の食品を回収した。
- ②新屋・能代・由利本荘の3つ海浜公園で行ったビーチクリーンでは、各回50～100名の方々にご参加いただき、多くのゴミを回収した。
- ③2023年度は様々な団体を対象に計7回のキャラバンを実施。多くのお子様たちとの交流を行った。
- ④アランマーレホームゲームの集客イベントとして、秋田商業高校生徒が発案した地産地商の食品を提供し、観客に対して秋田の魅力を発信。
- 2022年CNAアリーナで集客1,312名（土曜）/1,605名（日曜）、
2023年秋田県立体育館 集客856名（土曜）/1,335名（日曜）達成。

今後の展望

- ①社内やホームゲーム会場での実施回数を増やし、より多くの食料品の回収を目指す。
- ②これまでWリーグ参入時より3年間実施してきたが、今後も継続的に活動し、それをチームで発信していくことで活動の周知とともにビーチ利用者への意識付け（啓もう活動）を行っていく。
- ③継続した活動を行うとともに、アランマーレ秋田独自のプログラムを作成し、キャラバンの内容をブラッシュアップして引き続き、子ども達の健康及びスポーツ振興の発展に寄与する。
- ④2024年度はより実践的な事業とするため、ワークショップのテーマをアランマーレホームゲームの集客イベントからスポンサーとの共創企画の提案とする。
- 生徒には、よりビジネス実践に近い体験を通して今後の自身の学びの方向性や地元への貢献意識を啓もうする。また、実績と合わせて、デュアルシステム対象校を増やし、若者と共に地域活性に尽力する。